

優秀賞

きれいでしんぴてきなセミの羽化

岩手県 一関市立藤沢小学校三年 武藤 史菜

「もう一どあのきれいなセミを見たい！」夏の日の夕方、わたしは、よう虫をさがしに行きました。い前、セミの羽化を見てとても感動し「みんなにも知ってもらいたい。そうだ！自由けんきゆうにしよう」と考えたからです。本に、セミはサクラの木がすきだのとっていたので近所のサクラの木へ行ってみると、ぬけがらばかり。いくらさがしてもよう虫はいません。がっかりして、となりの木の根元を見ると、のそつと茶色い物が動いた気がしました。目をこらしてみると、セミのよう虫でした。「やった！またセミの羽化をかんさつできる。あのきれいなエメラルドグリーンの体、まだのびきっていない羽、しんぴてきなセミの羽化が見られるんだ！」よろこびでむねがいっぱいでした。

そして夜。セミがよく見えるようにカーテンに白いシーツをかけ、セミをそつとおきました。でも、

わたしはこまってしまいました。セミのよう虫がうんと元気で、どんどん上へ、上へと登って行ってしまうのです。下に下ろしてもまたのっこのっこと登って行ってしまいます。セミの羽化がうまくいくのは、めずらしいことだそうです。わたしはセミがエネルギーを使い果たして羽化が出来なくなるか心配になりました。お父さんに相談して、クワズイモにくっつけると、しばらくくきの部分を行ったり来たりしてからじつと止まりました。みんなで見まもつてみると、ぱかつと音はしなかったけれどせ中がわれしました。そして、中からエメラルドグリーンのセミがぐぐつと出てきました。ここからは大いそがしです。「あつ！そつくりかえつて落ちそう」「これでも前足をかかわかしているのかなあ」「目がかわいいなあ」などと思いながら、メモをとつたり写真をとつたりしました。セミは出てきたばかりのからだで

けなげによいしょ、よいしょと起き上がり、おしりをゆうっと出しました。羽は十分でまっすぐのびました。でも、まだ体はエメラルドグリーンのままです。わたしは、「なんてしんびてきできれいなんだろう」と思いました。

気づいたら、朝になっていました。わたしはとびおきてセミを見てみると、立ばな茶色いメスのアブラゼミになっていました。手にのせて歩いていると、急にバサバサッ！畑のおくの大きな木に元気にとんで行きました。

わたしは、生き物なら虫から恐竜まで、何でもきょう味があります。セミをかんさつしていて、大きな声やストローのような口など、たくさんの進化をしていると感じました。短い命だからこそ、セミは生き残るために、こういう進化をしたのだと思います。

その後、わたしがかんさつしたセミは、どこに行ったかは知りません。でも、わたしは立ばなオスゼミとけっこんをして、たまごを生み、しあわせになっほしいと心からねがっています。

